

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名：石岡市 都市建設部

事業の名称：石岡都市計画道路特殊街路

石岡バス専用道線整備事業

実施都市名：茨城県 石岡市

事業目的

石岡バス専用道線は、平成19年3月末に廃線となった鹿島鉄道(L=27km)の跡地のうち、石岡市内の区間(L=2.6km)を「バス専用道」として位置づけた都市計画道路です。

鹿島鉄道の廃線後、鹿島鉄道代替バスが鹿島鉄道に並行する国道355号において運行されましたが、運行本数が削減されたことや一般道を通行することから、定時性や速達性が確保されていた鉄道と比べてサービスレベルが低下し、バス利用者数は鉄道の4割程度にまで大きく落ち込み、その維持・運営についても課題を残すこととなっておりました。

このため、鹿島鉄道と同等のサービスを提供できるよう、行政やバス会社、地域住民、バス利用者等が一体となり、鹿島鉄道跡地という既存ストックをバス専用道として有効活用するBRT(Bus Rapid Transit:バス高速輸送システム)の整備が進められ、平成22年8月30日にバスの運行が開始されました。

事業概要

本事業は、鹿島鉄道の跡地である石岡バス専用道線を石岡市が市道として整備し、民間のバス会社が定時性と速達性のあるバスを運行する全国初の公設民営方式によるBRT整備事業です。

事業名称:石岡都市計画道路特殊街路石岡バス専用道線整備事業

路線名:石岡バス専用道線

事業箇所:石岡市国府一丁目～石岡市東大橋

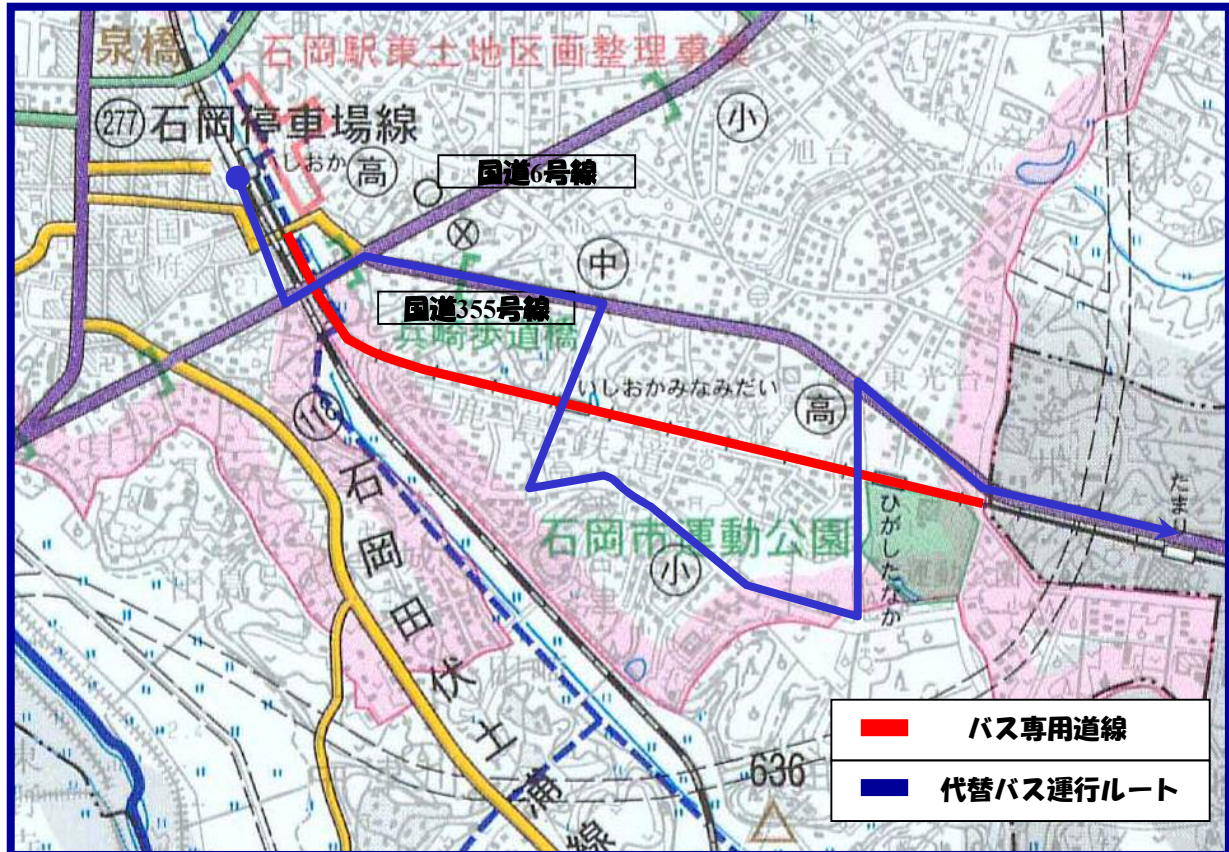
延長:2.6km

幅員:3.0m/4.0m(避難所は5.5m)

事業費:3.6億円

事業実施期間:平成21年～平成22年

石岡バス専用道線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 石岡都市計画道路特殊街路
石岡バス専用道線整備事業
路線名: 石岡バス専用道線
事業箇所: 石岡市国府一丁目～石岡市東大橋
事業延長: 2.6km
幅員: 3.0m/4.0m(避難所は5.5m)
総事業費: 3.6億円
事業期間: 平成21年～平成22年度

○バス利用者数

鹿島鉄道時代 (H18.2) 1,608人
整備前(代替バス) (H22.4) 794人
整備後(BRT) (H23.9) 1,070人

○アンケート調査結果

代替バスに比べて利便性が良くなったとの声がバス利用者の約8割

「整備効果」

○定時性と速達性のあるバスが運行

【バスの所要時間(石岡駅～小川駅)】

代替バス: 25～30分→BRT: 20分

○高校生をはじめとする沿線住民のバスの利便性が大幅に向上

【バスの利用者数(石岡駅～小川駅)】

代替バス(H21.9): 794人/日→BRT(H23.9): 1,070人/日

○並行する国道355号の渋滞緩和に寄与

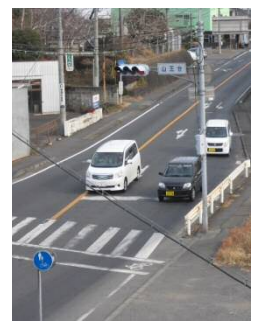
【国道355号の通過時間(石岡駅～小川駅)】

整備前(H21.9): 16.8分→整備後(H22.9): 14.2分

○茨城空港へのアクセス性が大幅に向上



事業前



事業後

「その他の事業効果」

- 沿線の高校生や地元自治会が主体となった利用促進活動を実施
- 更なる利用促進を目的に設置した「かしてつバス・サポーターズクラブ」を設置
- 東日本大震災後においても1日も休むことなく運行を継続

事業前写真

平成21年4月撮影



平成21年4月撮影



平成元年6月撮影



事業後写真

平成23年4月撮影



平成24年1月撮影

平成22年9月撮影

